

戦争の実相を学ぶ

1945年終戦から78年が経過しました。毎年この季節になると恒久平和を願いますが、現実には戦争が無くなることはなく、ロシアのウクライナ侵攻に見られるように、益々私たちに近づいてきているようにも感じます。今年も連合熊本は沖縄へ10名、広島へ6名を平和行動に派遣しました。（長崎は台風6号接近のため参加中止としました。）

平和行動に参加し、戦争の実相を学んだみなさんに感想を綴っていただきましたので、その一部をご紹介します。来年は是非、皆さんが参加してください。

平和行動 in 沖縄

日米地位協定の話は何度聞いてもあまりに理不尽。多くの人が知らないからなのか諦めているのか考えさせられました。

天皇や国への強い思いが戦争を引き起こし、さらには被害を大きくしてきたことも事実です。大切なのは一人一人が自ら考えること、偏らない考えをもてる環境なのかなと思います。

先の大戦の多大なる犠牲の上に、我々は平和を享受できていることを身に染みて感じました。今後、まずは学んだこと、体験したことを家族や職場の方々などに伝えながら、少しずつ答えを探していきたいと思います。

今回だけでは、全く学び足りていないと思いました。見ていない場所、知識が足りていない部分、学び続けていかなければ伝えられないと思いました。



沖縄行動の参加者

直接真実に触れ、結局自分は戦争を“過去の事”や“他人事”として捉えていたんだなと感じました。改めて、「自分の目で見える、知る」事の重要さに気づきました。

バンザイ突撃が自殺するまで戦う日本軍の愚かさや人間をここまで狂わせる戦争の恐ろしさ。それでも降伏しない最終手段が原子爆弾投下だったのだと沖縄上陸戦を学んでようやく理解することができた気がします。

多くの人たちが、沖縄の未来のために立ち上がっていることに感動しました。平和行動を通して、自分たちに出来る事は何かを考え、行動する事が大切だと心に刻みました。

戦争とは本当に憎しみや悲しみだけを生んでしまう無益なもので、未来を夢見るすべての人たちのためにも今後絶対に起こしてはならないものだとして再認識できました。

【沖縄行動参加者】※敬称略

森友紀（自治労）、黒木浩太（自動車総連）、西澤幸智（電機連合）、井上雅也（電力総連）、石川北斗（熊本教育ユニオン）、丸橋百愛（女性委員会）、西野誠志（青年委員会）、月足武生（肥後有明地協）、猿渡研一（連合熊本）、石田量子（連合熊本）

平和行動 in 広島

被爆直後の写真を交えながら実行委員会の方のガイドをお聞きし、リアルに被爆時の凄惨な状況を想像することができました。

ロシアによるウクライナ侵攻のただなかでの広島平和行動は、これまでよりさらに平和の尊さを感じる場となりました。

被爆体験者の方の高齢化が進む中、戦争や原爆の悲惨さを、風化させずに後世に引き継いでいく事が、重要だと再認識しました。高校生平和大使の「ピリョクだけどもリョクじゃない！」というメッセージには非常に感銘を受けました。



広島行動の参加者

8月6日8時15分からの1分間の沈黙の中で、鳴り響く鐘の音を聞きながら、語り部の方が話されていた当時の情景が心に浮かびました。

核のない、戦争、紛争の無い社会をつくることの必要性を再認識できました。こども代表が言われた『平和とはなんですか？』が心に残り考えさせられました。

【広島行動参加者】※敬称略

奥山莊秀（運輸労連）、高濱尚美（全労金）、森下紀彰（サービス連合）、山口竜弥（労済労連）、松村国広（菊阿地協）、田中広幸（連合熊本）

TSMCの熊本県進出に係る熊本県政への提言

連合熊本は構成組織からTSMC進出に伴う県民生活への影響についての調査を行い、県の政策立案に役立つよう「TSMCの熊本県進出に係る熊本県政への提言」としてとりまとめ、去る8月18日（金）、熊本県庁において木村敬副知事に提出しました。

冒頭、友田会長が木村副知事に提言書を渡した上で、「来年末のTSMC稼働開始に向けて、知事を先頭に様々な課題解決に取り組まれていくことは承知している。提言書は県内で働く者、そして生活者の視点からの声をまとめ上げたもの。既に着手されている内容、これから着手予定の内容もあるか



友田会長から木村副知事へ手交

と思うが、今日段階の私どもの率直な意見として受け止め、政策に反映していただきたい」と趣旨を説明。これに対し木村副知事は「貴重な提言を頂いたことを重く受け止めている。労働者の安全の確保は当然、生活者の皆さんが安心安全な暮らしを維持しながら、今回のTSMCの立地メリットを共有し、生活がよくなるように全力を尽くしたい」と応えました。

続いて園田副会長（政策委員長）が、労働者保護をはじめとする9項目にわたる提言内容の主旨を説明。その後、出席した連合熊本役員と県幹部との意見交換ができました。

なお、連合熊本側からは友田会長、副会長、事務局長、副事務局長の計15人、連合熊本推薦の県議会議員4人。県側からは木村副知事、三輪商工労働部長、清田政策審議監、時田労働雇用創生課長、霜出審議員の5人が出席しました。

過去最高の引き上げ額45円の898円で結審

熊本地方最低賃金審議会

熊本地方最低賃金審議会（構成15人のうち連合熊本5人）が行われ、熊本県における2023年度の地域別最低賃金の改定額が、45円の引上げで結審しました。これにより、2023年10月8日からの最低賃金は、時給853円から45円引き上げられ、898円となります。昨年に引き続き、物価高騰の中での審議となりましたが、今年は中央審議会で都道府県ごとの経済指標に応じて設定される目安額のランクが、地域間格差是正を目的に4つから3つへ変更されたこと、全国加重平均で1,002円に引き上げるとする過去最高額の目安を取りまとめたことが昨年とは大きな違いであり、熊本県を含むCランクは39円という目安額が示されました。

これを受け、熊本においては、7月28日の専門部会から、具体的な審議がスタートしました。労働者側からは、①賃金上昇（30年ぶりの水準）、②物価上昇（生計費）、③熊本県内の社会情勢——などの三要素に加え、地域間格差是正と10月1日の発効をかなり意識した見解を表明し、これを根拠に目安への上積みを訴えました。

九州各県の最低賃金金額改正状況

県名	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
現行額	900	853	853	853	854	853	853	853
引上げ額	41	47	45	45	45	44	44	43
2023年度最低賃金額	941	900	898	898	899	897	897	896
引上げ率	4.56%	5.51%	5.28%	5.28%	5.27%	5.16%	5.16%	5.04%
発効日	10月6日	10月14日	10月13日	10月8日	10月6日	10月6日	10月6日	10月8日

発効日：発効年月日に労働した分の賃金から、最低賃金を下回る賃金は強制的に最低賃金に引き上げられます。

連合熊本、火の国まつり・おてもやん総踊りに初参加

連合熊本は、8月5日（土）に熊本市で開催された火の国まつり・おてもやん総おどりに初めて参加することができました。女性委員会、青年委員会をはじめ、各産別、事業体等からの協力もあり、総勢47人が参加。銀座通り付近から鶴屋百貨店付近までの電車通り周回コースを、19時15分から途中休憩をはさみ、20時45分までの1時間半を踊りました。連合熊本を広く社会にアピールするとともに、産別を超えて連合熊本の一体感を感じながら、楽しい時間を過ごすことができました。



連合熊本の横幕を先頭に



連合熊本の参加者

編集後記

昔々小学生のころ、田舎のグラウンドであっていた盆踊りに行ったことがあります。自分ひとり輪に入って時間を忘れて踊っていると、「いつまで踊っとかい」と今は亡き親父が呼びに来た場面を思い出します。結構楽しかったのですね。あれから50年近くたち、今年はおてもやん総踊りに出ることができました。連合の仲間47人で1時間半、やっぱりなかなか楽しいものでした。コロナを経て、みんなで集まって一緒に何かをする機会が少なくなりましたが、企画してくれた熊本市に感謝したいと思います。戦争を省みなければならない夏ですが、平和を楽しむ夏もいつまでも続いてほしいものです。来年はもっと大勢で参加しましょう。（talk to me）

Topics

RENGO KUMAMOTO

フォローをお願いします

連合熊本はインスタグラムもやっています。下記のQRコードから入り、フォローをお願いします。

Instagram



rengo_kumamoto



https://www.instagram.com/rengo_kumamoto/

今後の主なスケジュール

- 9月2日 連合熊本女性委員会第8回幹事会
- 6日 特定（産業別）最低賃金対策会議
- 8～11日 平和行動 i n 根室
- 11日 9月期県議会対策会議
- 19日 連合熊本第24回執行委員会
- 23日 連合熊本第4回青年委員会四役会議
連合熊本第6回青年委員会幹事会
- 9月30日～10月1日 連合九プロ
第8回ユースラリー